

転入超過数の8割が「15歳～24歳」

～平成21年 住民基本台帳による人口移動状況～

今月の特集は、平成21年中の、福岡市における日本人の人口移動状況（住民基本台帳による）をご紹介します。

1. 転入前、転出後の住所地別市外移動

東京圏への転出超過数は2年連続減少

平成21年の福岡市への転入者数は72,862人（前年比1,563人減）、福岡市外への転出者数は67,795人（同1,583人減）となっており、差引5,067人（同20人増）の転入超過となりました。

これらを主な転入前・転出後の住所地別に見ると、最も大きな割合を占める九州・沖縄（福岡都市圏を除く）からの転入者数は、33,024人（前年比1,569人減）、同地域への転出者数は24,530人（同631人減）で差

引8,494人（同938人減）の転入超過となっています。

最も流出がみられる東京圏への転出者数は13,408人（同393人減）、転入者数は10,298人（同115人増）で、3,110人（同508人減）の転出超過となっています。

また、福岡都市圏への転出者数は14,161人（同5人減）、転入者数は13,061人（同349人減）で、1,110人（同344人増）の転出超過となっています。

地域別構成比を見ますと、転入・転出者数ともに約8割がこれら3地域との移動となっています。福岡市の人口移動の特徴として、九州・沖縄地方からは流入し、福岡都市圏と東京圏へ流出していると言えます。（表1、図1）

表1 主な転入前・転出後の住所地別転入者数、転出者数、及び転入超過数
（平成12年～21年）

区分	（単位：人）										前年増加数	
	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年		
総数												
転入者数	77 111	79 090	78 870	77 966	76 348	76 455	78 190	81 452	74 425	72 862		△ 1 563
転出者数	73 762	72 866	72 429	72 992	71 489	69 968	70 537	75 400	69 378	67 795		△ 1 583
転入超過数	3 349	6 224	6 441	4 974	4 859	6 487	7 653	6 052	5 047	5 067		20
対九州・沖縄 （福岡都市圏を除く）												
転入者数	36 694	38 221	37 867	37 126	35 637	35 713	36 548	40 747	34 593	33 024		△ 1 569
転出者数	28 871	28 587	28 313	28 184	27 456	26 642	26 376	30 262	25 161	24 530		△ 631
転入超過数	7 823	9 634	9 554	8 942	8 181	9 071	10 172	10 485	9 432	8 494		△ 938
対福岡都市圏												
転入者数	13 275	13 463	13 639	13 726	13 264	13 674	13 963	13 736	13 410	13 061		△ 349
転出者数	16 679	15 591	15 152	15 526	15 003	13 893	14 524	14 300	14 166	14 161		△ 5
転入超過数	△ 3 404	△ 2 128	△ 1 513	△ 1 800	△ 1 739	△ 219	△ 561	△ 564	△ 756	△ 1 100		△ 344
対東京圏												
転入者数	10 094	10 021	10 184	10 355	10 467	10 431	10 596	10 262	10 183	10 298		115
転出者数	12 365	12 625	12 695	13 035	12 545	13 081	13 398	14 237	13 801	13 408		△ 393
転入超過数	△ 2 271	△ 2 604	△ 2 511	△ 2 680	△ 2 078	△ 2 650	△ 2 802	△ 3 975	△ 3 618	△ 3 110		508
その他												
転入者数	17 048	17 385	17 180	16 759	16 980	16 637	17 083	16 707	16 239	16 479		240
転出者数	15 847	16 063	16 269	16 247	16 485	16 352	16 239	16 601	16 250	15 696		△ 554
転入超過数	1 201	1 322	911	512	495	285	844	106	△ 11	783		794

※福岡都市圏 …筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川町、古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、宗像市、福津市、糸島市（旧前原市、旧二丈町、旧志摩町）

※東京圏 …東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

平成12年からの10年間の転入超過数（△は転出超過数）の推移を見ると、九州・沖縄は約5年周期で増減の繰り返しがみられます。また、福岡都市圏への転出超過数は、平成13年に東京圏を下回り、平成17年には219人まで減少しました。その後わずかに増加傾向にあるものの、平成21年の転出超過数は10年前の3分の1となっています。東京圏は、転出超過が平成12～18年は2千人台で推移していましたが、19年に4千人近くに増加し、その後緩やかに減少しています。（表1、図2）

次に、都道府県別に見た転入前・転出後の住所地の上位5地域を見ると、福岡県内からの転入者が最も多く、転入者総数の32.6%を占め、次に長崎県（7.4%）、東京都（7.0%）、熊本県（5.9%）、鹿児島県（4.9%）の順になっています。転出先も福岡県内が最も多く、転出者総数の32.9%を占

図1 転入，転出者数の転入前・転出後の住所別構成比

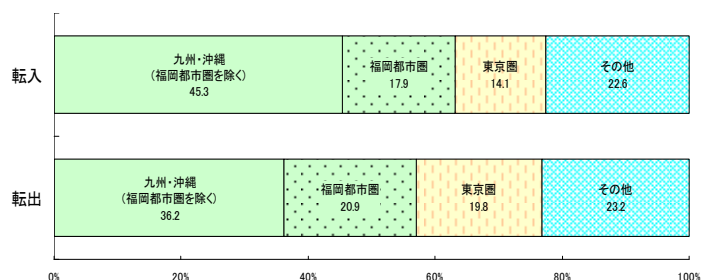


図2 主な転入前・転出後の住所別転入超過数の推移（平成12～21年）

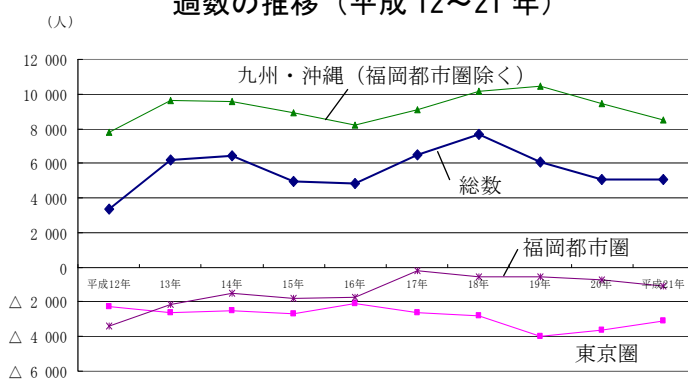


表2 転入前・転出後の住所地の上位5地域（都道府県，福岡県内別）（平成21年）

(7) 都道府県別 上位5地域

	転入前		転出後	
	順位	県名	転入者数 (人)	構成比 (%)
転入前	1	福岡県	23 760	32.6
	2	長崎県	5 362	7.4
	3	東京都	5 065	7.0
	4	熊本県	4 303	5.9
	5	鹿児島県	3 571	4.9
転出後	1	福岡県	22 337	32.9
	2	東京都	6 865	10.1
	3	長崎県	3 603	5.3
	4	大阪府	3 170	4.7
	5	神奈川県	3 149	4.6

	転入超過		転出超過	
	順位	県名	転入超過数 (人)	転出超過数 (人)
転入超過	1	長崎県	1 759	
	2	福岡県	1 423	
	3	熊本県	1 349	
	4	鹿児島県	979	
	5	大分県	775	
転出超過	1	東京都		1 800
	2	神奈川県		634
	3	千葉県		468
	4	大阪府		240
	5	埼玉県		208

(4) 福岡県内 上位5地域

	転入前		転出後	
	順位	市区町名	転入者数 (人)	構成比 (%)
転入前	1	春日市	1 935	2.7
	2	久留米市	1 490	2.0
	3	大野城市	1 422	2.0
	4	前原市	1 258	1.7
	5	小倉北区	1 170	1.6
転出後	1	春日市	1 787	2.6
	2	前原市	1 436	2.1
	3	大野城市	1 429	2.1
	4	久留米市	1 243	1.8
	5	粕屋町	1 214	1.8

	転入超過		転出超過	
	順位	市区町名	転入超過数 (人)	転出超過数 (人)
転入超過	1	小倉南区	348	
	2	飯塚市	249	
	3	久留米市	247	
	4	小倉北区	191	
	5	大牟田市	153	
転出超過	1	粕屋町		309
	2	新宮町		183
	3	前原市		178
	4	太宰府市		144
	5	古賀市		123

めていますが、2位は東京都（10.1%）で、次いで長崎県（5.3%）、大阪府（4.7%）、神奈川県（4.6%）となっています。

また移動の差引を見ると、長崎県からの流入が最も多く、1,759人の転入超過、以下福岡県、熊本県、鹿児島県、大分県の順となっています。流出が最も多いのは、東京都で1,800人の転出超過、以下神奈川県、千葉県、大阪府、埼玉県の順になっています。

福岡県内での順位を見ると、転入、転出者ともに1位は春日市となっています。移動の差引では、小倉南区、飯塚市、久留米市、小倉北区、大牟田市からの流入が、糟屋郡や前原市への流出が上位となっています。（表2）

2. 行政区別移動状況

市内移動による転入超過は東区、西区に集中

次に行政区別に、市外移動及び市内移動（区間移動）による転入、転出者数を見ます。市外移動による転入、転出者数が最も多いのは博多区で、市内移動による転入、転出者数が最も多いのは中央区となっています。

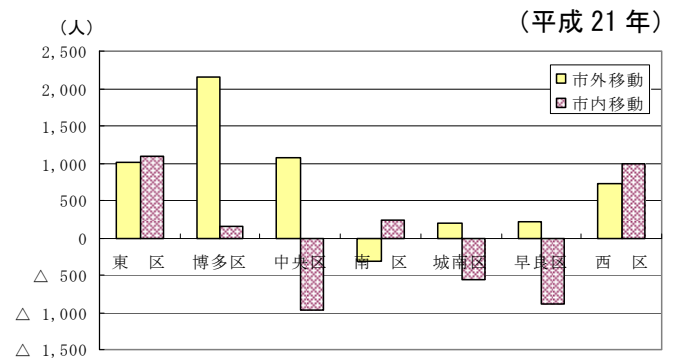
移動の差引をみますと、市外移動による転入超過数は博多区が突出して多く、2,163人となっています。市外移動により転出超過となっているのは、南区のみです。

市内移動による転入超過は東区、西区に集

中しています。逆に中央区、早良区、城南区では転出超過となっています。

中央区は市外からの転入超過数が1,071人ですが、市内他区へ972人の転出超過となっており、全体では99人の増加にとどまっています。また東区や西区では市外移動より市内移動による転入超過数の方が多くなっています。（表3、図3）

図3 行政区別、市外移動、市内移動別転入超過数



3. 年齢別移動状況

転入超過数の約8割が15～24歳

市内移動者も含む転入、転出者を年齢（5歳階級）別に見ますと、転入、転出ともに最も多いのは「25～29歳」となっています。次いで「20～24歳」が多く、総数の36%を20代が占めています。

また転入超過数を見ると、「20～24歳」、

表3 行政区別転入者、転出者、転出超過数（平成21年）

(単位：人)

市・区	市外移動		市内移動		転入超過数(△は転出超過)		
	市外から転入	市外へ転出	市内他区から転入	市内他区へ転出		市外移動	市内移動
福岡市	72,862	67,795	36,629	36,596	5,100	5,067	33
東区	13,606	12,598	4,916	3,821	2,103	1,008	1,095
博多区	14,999	12,836	6,324	6,174	2,313	2,163	150
中央区	11,516	10,445	6,412	7,384	99	1,071	△ 972
南区	11,007	11,316	5,645	5,417	△ 81	△ 309	228
城南区	5,018	4,825	3,821	4,392	△ 378	193	△ 571
早良区	8,663	8,441	5,002	5,898	△ 674	222	△ 896
西区	8,053	7,334	4,509	3,510	1,718	719	999

及び「15～19歳」が突出して多く、これらを合わせると転入超過数の約8割を占めています。就職や進学による市外からの転入者が多いとみられ、特に女性の流入が多くなっています。

逆に転出超過となっているのは「0～4歳」, 「25～29歳」, 「30～34歳」などで、若い子育て世代の移動が影響していると考えられます。(表4, 図4, 5)

【資料】

- ◇福岡県人口移動調査
ふくおかデータウェブ (福岡県)
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/>
- ◇福岡市の統計情報ホームページ
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/tokei/index.html>

図4 年齢(5歳階級)別男女別転入, 転出者数

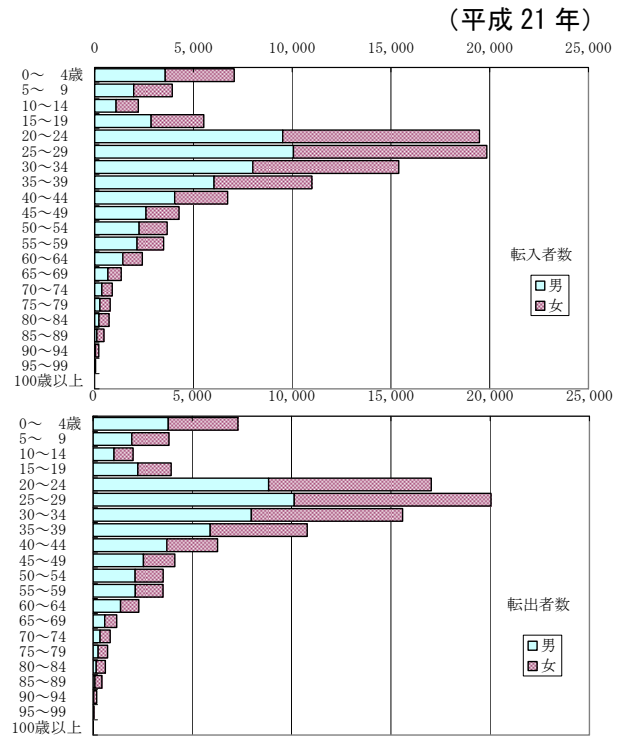


図5 年齢(5歳階級)別, 男女別転入超過数 (平成21年)

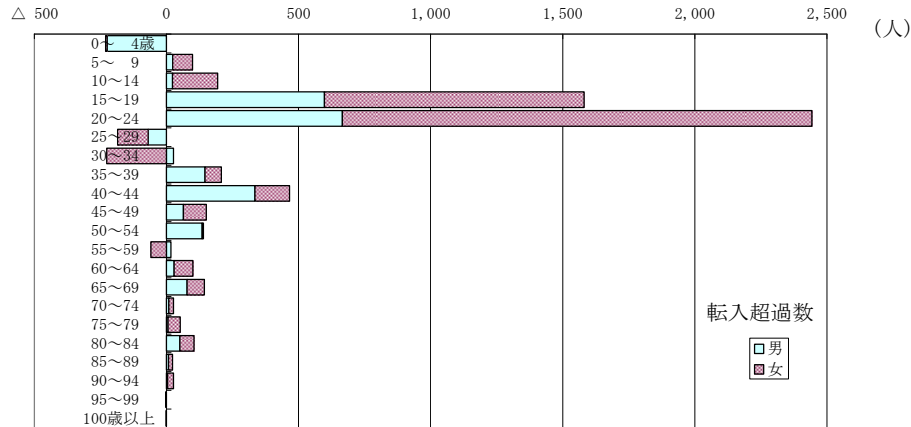


表4 年齢(5歳階級)別, 男女別転入, 転出者数, 転入超過数 (平成21年)

区分 年齢	転入者数			転出者数			転入超過数		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数	109,492	57,261	52,231	104,392	55,335	49,057	5,100	1,926	3,174
0～4歳	7,065	3,570	3,495	7,295	3,794	3,501	△ 230	△ 224	△ 6
5～9歳	3,923	1,975	1,948	3,824	1,951	1,873	99	24	75
10～14歳	2,213	1,081	1,132	2,019	1,058	961	194	23	171
15～19歳	5,520	2,859	2,661	3,939	2,261	1,678	1,581	598	983
20～24歳	19,479	9,515	9,964	17,036	8,849	8,187	2,443	666	1,777
25～29歳	19,851	10,064	9,787	20,036	10,133	9,903	△ 185	△ 69	△ 116
30～34歳	15,390	8,001	7,389	15,589	7,974	7,615	△ 199	27	△ 226
35～39歳	10,994	6,048	4,946	10,786	5,902	4,884	208	146	62
40～44歳	6,736	4,049	2,687	6,270	3,714	2,556	466	335	131
45～49歳	4,268	2,602	1,666	4,117	2,538	1,579	151	64	87
50～54歳	3,670	2,254	1,416	3,530	2,119	1,411	140	135	5
55～59歳	3,486	2,146	1,340	3,528	2,129	1,399	△ 42	17	△ 59
60～64歳	2,411	1,421	990	2,311	1,392	919	100	29	71
65～69歳	1,344	671	673	1,200	593	607	144	78	66
70～74歳	890	364	526	863	355	508	27	9	18
75～79歳	787	268	519	735	262	473	52	6	46
80～84歳	728	218	510	624	167	457	104	51	53
85～89歳	471	111	360	448	103	345	23	8	15
90～94歳	210	38	172	183	34	149	27	4	23
95～99歳	50	5	45	52	6	46	△ 2	△ 1	△ 1
100歳以上	6	1	5	7	1	6	△ 1	0	△ 1

※市内他区への移動者を含む。職権により記載・消滅した者及び新旧住所不明者は含まない。